

Nantaru Hoshi

TANKA

Nantaru Hoshi



2
5th anniv.
Feb.
2019

【目次】

連作（ちょっと大盛り）

ふりかけ・・・加賀田優子

ツーショット遺影・・・ナイス害

栄養関係・・・迂回

柚子・・・はだし

メロウ・ホワイト・・・スコラブ

みんなのやりたいこと

編集後記

extra...?

ふりかけ

加賀田優子

なまごみをすてたその手をよく洗いなんにでも触れるようにする

ぺたぺたのお肉の断面きれいだなこういう冬ならつづけばいいな

こころがねこころがばかばかするときのりたまふりかけもつとください

カラオケでねむるおんなを包みこむぐちゃぐちゃの歌と歌と歌の動画

お説教みたいなのやだやだのんでのんで芋虫のはなしをして

外国のことばの意味もわからない映画のピアノのみじかい響き

ゆめをみたことを覚えているだけの夜も額縁にいられてある

にんげんになれないけものつまんだってぶにぶにぶにとなるその牙

公園のちかくに住むと生き残ったしゃぼんだまがあそびにきてくれる

あんなにも大事にしていたシーラカンスの目がなくなつて 意外とへいき

ゴルゴンゾーラのペンネを英語で言いたい ペンネゴルゴンゾーラ
もし雲の上で寝るなら知っていてレモングラスは水虫に効く

さまざまな花で造ったコンドームは明日の蝶に譲ってもいい

突然ハーモニカを吹かないでほしい NHKの集金がくるから

家が燃えてるみたいで顔でカラスを見てるハト ハトは色の達人

糖度の高い夕焼けトリフレクション せえので欲しいスニーカーを言う

顔に空を描いて真ん中におそろいのシリウス描いて ツーショット遺影

緯度のようにゆるやかにちを開けワセリンを塗り雨を降らせた

ルルは3錠なのに最後2錠余るのはおかしい 5錠飲む

たまご粥、誰とも戦わずにいてね こんなに輝いているのだから

絞られたレモンに代わり出廷します 被告人の名は 被告人の名は

オレンジピールチョコを奥歯にわすれたまま電信柱を抱きしめ返す

素敵だ どんなに髭が似合うだろう背の高い高いアルビノの月

色のない冷たい微かの中でさえ本当のことを言えてしまうよ

横顔を縦から見たい ほくろにも季節はあつて春がもうすぐ

どんぶりは割れないでくれてありがたいがとういつでも割れられるんだろうにね

凍らせてパウダー化してそれきりのスフレなのだよ甘っ甘っ

三十歳過ぎてからかな、背脂の音が聴こえて応えられない

切り裂いてつないで跳んで銃弾が通ったあとの人間関係

タンブラーにうつった自分の顔を見て歳とったなって思ったの？まじで？

ほこり避けのタオルにほこりが積もること そのジャーキーもう味しないでしよう

みなさんのおかげでできた記号ですレジジャーのときなどに使ってください

あつついうどんをわしづかみするって選択がいつでもできるよ忘れないで

拝啓と天気の話のあとに書くあるとき一緒にとった栄養

ハンガーが隙間に落ちる法則を論じたら工夫を勧められました

単一の黄桃点の腐り落ち中身にセケン染み込んでいく

ごどうがぎごえる 立たないでまだ穴でしょう耳になってはいないのでしょ

うありがとうカウントダウンはしないから丸い氷のだんだん溶ける

土に溶けきったらそこにあなたとの栄養関係だけが残った

すっげえ、ゾウがサンバ掻き分けて全員幸せになる話じゃん

融合 って魔法カードがあったんすよ 俺とグミがって思うと怖くてね

症状と呼ばれる側に立つ 傍にただで強くなれそうですか

柚子
はだし

完全にふたりの息が合っていない獅子舞がこっちへ 来てますね

階段を上り下りしながら待ってて振り返ったらいた 笑っところ

花粉情報の「多い」の顔がっらそう つらい日にばかり駆り出されて

ボールペンであそこまで描けたらそりゃね、判断力も鈍るでしょうよ

バイトから帰ってくると衝撃映像がやってて牛が飛んでる

枕から枕カバーを外すのにもなかなか いきますね、体力が

絶対に一回座ってるよな、これ 座ったあとのティッシュの箱だ

盛り塩というより塩の芸術になってる 13時の音楽だ

ならなくてもいいよ、落語の時代からそうやって来たんだからみんな

ペランダでたばこをもらう花柄のシャツだから断れない いいね

雀牌がワイングラスに入ってる、これから何か起こるんでしょうね

柚子ぶつけんかって このやろう それならこっちも柚子だ、柚子戦争だ

許しあってる人たちのなかで今いちばん柚子のにおいをさせて

あとで読も、のブックマークは半年後くらいにかなり助けてくれる

エレベーターの中で考えてることはおしまい エレベーターを出たらね

メロウ・ホワイト

スコラブ

四月には会えないものが多すぎてさくら通りで吐く冬の息

白黒は付かないと背を反らせれば蛍光管の色の豊かさ

知ってますそれも仕事とどこどこか宴会芸の練習

確認は死ねば誰かがするだろう P D C A、Pだけ回す

人知れず泣いて帰った夜だから顔を洗って骨まで洗う

映画なら一人で行きなただそこでぜひ観て欲しいものがあるんだ

はつ雪と思ったものが雨だったそんな言葉のスタンプがない

避難所とカミツレの花、青インク この商店街で知ったもの

ピヨンド・ザ・ダークネスまたダークネス金色草紙も光りゃあしねえ

ハピバスター濃すぎる面子 ワンペアのハートの方を速やかに撃つ

強力な磁場をまとってけやき坂 ヒルズ族から磁力を奪う

審判が下る日のことなど思うモータープールは慣れない響き

例として電話は本当に必要な発明なのか Ring Ring Ring 割る

信じれば咲く王冠の花なんだ額を軽く撫でながら言う

花なんて買った最後はいつだろう終わりはきみで白い花束

吐く息でさくら通りを染めようか一月もまた二度とは来ない



なんたる星のやりたいこと！



こんなことをしてみたい はだし

関東圏にしかないチェーン店への憧れがある。例えば富士そば。自分は富士そばへ行ったことがない。何度か東京やその近辺には行っているけれど、なかなかタイミングに恵まれずに今日に至ってしまった。いつだったか、Twitterのタイムラインに富士そばか何かのメニューを投稿するブームがあったが、「いいなあ」と羨ましがりつつ眺めていた。自分には手の届かないあれこれが、日々の生活に自然に入り込んでいる。カツ、そば、カレー。リーズナブルなお値段で提供されるそれらは、どんなお洒落スポットの"映え"メニューよりも魅力的に思えた。しかし現実を目を向けると..... 遠い、遠すぎる。天竺かつつうの。ただプラス一万数千円のオプション(新幹線代)を払うのは期待値を上げすぎてしまいそうで怖く、かといって泊まってまで関東に"行きたい!"と思えるスポットがあまりないこともあって、二の足を踏み踏みしている。また、富士そば特有の注文ルールがわからないことも不安だ。おろおろしている内に、忙しく働くサラリーマンの群れによって外へ外へと押し出されてしまうのではないか。そうなれば店の前に立ち尽くす他ない。なんだか怖くなってきた。富士そば、あなたは私のような人間を受け入れてくれるのだろうか。富士そば、きみは料亭なのか。一見さんお断りなのか。誰か助けてください。と、何だかんだ言ってはきたが、やっぱり一度は行ってみたい。できることならふらっと入店、さっと注文がいい。生活に根づいた食として味わえることができたらと思う。たぶんごちそうにしましては意味がない気がする。



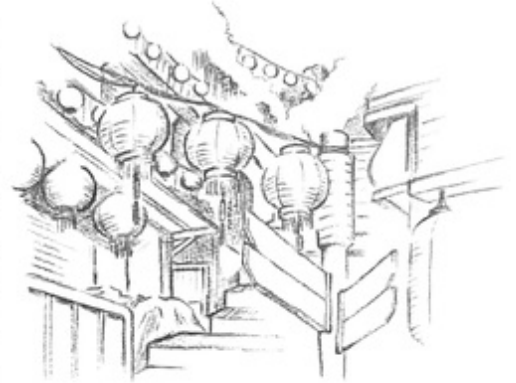
画像は google 検索からの引用。控えめに言って良すぎる。追加検索欄に並ぶワードも魅力的だ。

したいことやりたいこと ナイス害

- ・映画「變臉(へんめん)～この權に手をそえて～」をできれば DVD で観たい
- ・金属バットの単独ライブを東京で見たい
- ・ずっと長距離バスで眠れなくて、その理由を「神経質だから」という理由にしてずっと音楽を聴いて起きていたんだけど、音楽が鳴ってない時に普通に寝てたので、そもそも無音じゃないから眠れなかったんだよと、過去の自分に教えてあげたい
- ・アサラトの苗木をまた日本に輸入できるようにして、4つ目の国産アサラトを育てたい
- ・なんたる星のアニメ化を本当に実現してくれるアニメーターの方をどなたか紹介してほしい
- ・ものすごく面白い歌会の様子を DVD などにパッケージングしたい
- ・ラピュタの内部の、キューブがゴーンゴーンってぶつかり合ってる部屋にずっと閉じ込められてる2人を助けたい
- ・ケンミンショーに出て、みのもんたより先に食べて「ヒロミと坂上忍が嫌い」と言いたい
- ・A マツソのゲラニチョビの青森回で出てきた「手」を名乗るキャラクターが、自分の短歌を元にしてくれたものであってほしい
- ・どれだけ足のストレッチを頑張っても前屈して爪先に手が届かないので、自分は足が長い、ということにしてほしい
- ・そろそろ空気を読んでファンファンはくるりから脱退してほしい
- ・こっちのソシャゲでめちゃくちゃ余ってるコインを、あっちのソシャゲで困ってる自分に全部あげたい
- ・エルレガーデンのライブで「Make A Wish」の前半部分の静かなところで先走ってダイブしてる奴らを引き摺り下ろしたい
- ・BAZOOKA!!!の地下クイズ王決定戦で優勝したときのシミケンにハンカチを差し出したい
- ・大人のピタゴラスイッチで片桐仁が着てる変な柄のシャツがどこで売ってるか全部知りたい
- ・岡野大嗣に 1000 円返したい
- ・元気なライオンが見たい
- ・金曜日に水曜日のダウンタウンを観たい
- ・ネコに跨ってハチャメチャ大冒険したい
- ・明日も笑っていたい

週末海外旅行というものがしてみたい。1泊2日ぐらいでふらっと行ってさっと戻って来る一人旅。コンビニ袋だけ持って海外に行くという人がごくごく稀にいて、森田剛とか、その前には福山雅治とかもそんなことを言っていた気がするけれど、なんだかそういう感じはわかるし、憧れもする。ただ本当にコンビニ袋で海外に行くかと問われれば行かないので、同じようなふらっと感を味わうにはと考えると、週末だけ行くというのはいい落とし所でないかと考えてみた。

台湾の九份という街が強く印象に残っている。中華風と西洋風が入り混じったようなモダンな建築が連なり、その軒には赤い提灯がいくつもさがっていて、エキゾチックな雰囲気を醸している。山の急斜面の上を細い路地が四方八方に伸びていて、その中に飲食店や食品店、土産物屋が鰻の寝床のようにして詰まっている。千と千尋の神隠しの舞台のモデルになったらしく（公式には認めていないらしいが）なるほどこれを参考にしたと言われれば、確かにそうかもしれないと思えるような独特のビジュアルを持った場所である（冒頭に出てくる屋台の通りの感じなどはまさにそんな感じ）。ちなみに実際の九份の路地を歩くと、強烈な臭いに襲われることが何度もある。おそらく臭豆腐の臭いと思われるが、九份の飲食店でなんの違和感もなく臭豆腐を食べられるようになったりするとホンモノのような気がする。なんのホンモノなのかはわからないが。



香港に行くなら、九龍城跡とその周辺には立ち寄ってみたい。うらぶれた感じ、薄汚れた感じがする場所というのになんとなく惹かれるところがあって、ただ廃墟までいくと自分としては行き過ぎで、そこには人が暮らしている感じ、生活の息吹があって欲しい。そうしたものの最たるものというのが、おそらくはかつて存在していた九龍城砦で、その姿が見られない残念さもありつつも、現存していてもその危険さゆえに行けないのではというのもあるので、在りし日の名残を見て思いを馳せるというぐらいが丁度いいのかもしれない。

あと、香港つながりで、ここジャッキーが落ちたところじゃない？みたいなのを探したい。あくまで時間に余裕があれば。

ハワイにも行きたい。ハワイといえば、「ホノカアボーイ」という、岡田将生が主演しているハワイを舞台にした映画を10年近く前に観ていた。ストーリーは正直なところ、そんなに好きなものではなかったというのはあるのだけれど、なにしろまったくとしたハワイの田舎町の空気感がよく出ていて、普段はロハスとか何を言っているんだ？顔洗って出直して来い、な自分でも、こういうところでのんびりと暮らしてみたいという願望がすぐられた。映画の中にはさまざまな料理が登場するが、中でもハワイの名物であるマラサダが頻繁に登場する。これが本当に美味しそうに見える。非常に個人的なイメージだけれど、南国のからっとした空気には揚げたパンやドーナツのような食べ物がとても良く合う気がする。なにかしら因果関係がありそうな気もするので、誰か調べてみて欲しい。

映画の舞台でのんびりと過ごすには一泊では確実に合わないので、現実的にはハワイの中でもワイキキビーチのような定番どころに行くことになるんだろうけれど、ハワイの青空の下でマラサダを食べたいという目的が達成されればおそらく八割方は満足なので、ぎりぎり一泊でも大丈夫じゃないか？と思うところ。



映画に出て来るのは四角い



あー言語やりたいー言語やりたいなーという気持ちで最近はずっといて、言うなれば短歌ぜんぜんできてないですよ。大喜利にいたってはほぼ休止です。言うて短歌は殆どこの誌上の分だけでできてればなんとかなるんですけど。

昨年末にね、自分の短歌のここをこうできたらいいなーみたいなものをまとめてネッブリにしたりもしたんですけど、ぜんぜん試行できてない。試さなきゃだめじゃんねー。試して自分でじーっと見たときのあのアーこそが、ということもありますので。どちらかという自作の感じをコントロールしたい欲が強く、こうしたいときはこうなってほしいみたいなのがあって、最近あんまり効いてないのでそこを強く曲げていきたいですね。突き指早めに固めとけよ。

でそれですね、何やってるかっていうと主に最近プログラミングとかそっちの方で、その背景としても色々あるんですけど大事なのはプログラミングはだいたい言語でやるということです。やってるじゃん言語～なんなの～。プログラミングとかゆって表現じゃないんじゃないですか??とする向きもあろうかと思いますがプログラミングわりと表現ですよ!!??というのは伝えていきたいところです。表現するのが自分の気持だったり世の中じゃなくてコンピュータに伝えるための命令だというだけです。ぼくは別に表現ができるならターゲットが心とかじゃなくてもかまわないんだ。

表現としてのプログラミングかなり素敵で、言語なので同じ意味のことでも言語が変わればニュアンスが変わることもあるし、同じ言語でもいろんな書き方ができたりするわけです。そんで受け手（コンピュータ）が動くんだけど、書き方によっては爆速だったり無駄にはちゃめちゃ容量使ったり激遅になったりもする。じゃあ爆速一択じゃんって思うんだけど実際お仕事だと他の人間のひとが読みやすいようにしておくのが一番大事だったりするんですよね～～～表現～～～いや激遅はだめだけど。

むかしなんたる星始まって何ヶ月かくらいの頃にも似たようなことを考えて、プログラム言語に寄せた短歌みたいなのできねえかなあとか思ってました。短歌っぽく読めるんだけどなんかのエンジンで実際実行可能で実行するとなんか出てくるみたいな。むずくて諦めてできたのが「Program」（2014.9月号 <http://p.booklog.jp/book/89443/page/2395394>）でした。

なんだっけ。やりたいことなので、これから勉強したいプログラム言語ランキングを載せましょうか。いま手持ちがC#とPythonしかなくてこれらももっとやりたいんだけど取り敢えず除いて。

- ◆雑多な気になっていること
- ・ムードメーカーの上位互換ってムードブランドなのは
- ・MeltyKissが寒くてパキパキしておいしかったんだけど、15度くらいの室温だともう普通になっててシビアだ
- ・Twitterでマンガをマンガのコラで褒める文化ができてなるほどなーと思った
- ・手でかばん持って移動すると異様に疲れる
- ・ダンスのすごさ

| 位 | 言語 | なんでよ |
|---|------------|---|
| 1 | JavaScript | ふざけたWebサービスを作ろうとしたときふざけてる感を出すために必要だと思う。10年ぐらい前にこれでオセロ作ったんですけどいつの間にかフロントの覇権を取っていたしフレームワークやらトランスパイラが尋常じゃない数あるのでどうしよう怖い。 |
| 2 | Scala | 関数型やっつけよ的な。雑な理解ですまない。そういう意味だとElmってのをやると関数型の勉強しつつフロントもさわれたりするんですか????ちょっと調べただけでこの辺の言い方が地雷になる界限もあるらしくて怖い。 |
| 3 | Go | Go!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!! 公式キャラちょっと怖いけど慣れるとかわいいのかな。 |

あとやっぱ大喜利やりたくってね。なんでか最近ネット大喜利のあたりが盛り上がっててすごく嬉しくて泣いてしまいそうなんだけど今休んでてあーってなってます。大喜利いいですね。問いがあって答えるというやつでね。生まれるんですよ。感情と感情以外が。いいですね。つまり全部やりたいんだ僕は。うわ-----

／

ごはん、なにがたべたかったっけなあと思って冷蔵庫をあけると、ふおんふおんと冷気が腕をはいあがってきた。おもわずなにもしないでとじてしまう

雪がつもるのをたのしみに（おおきすぎるスコップをあたらしく買った）していたのに、ついにつもらないまま冬がするする過ぎていく
だからといって、いっしゅんでも気をぬくと、からだのさきから熱がこぼれてこぼれて、つめたいつめたい

リップクリームを探そうとして触れた蛍光ペンを見て、くちびるにぬるなら、こっこのほうなのかもしれないとなる
ちかちかのくちびるでコンビニへ行こう
コンビニならなにかひとつぐらい、あたたかいものがあるかもしれない

冷蔵庫をあけるのはもうやめて、もこもこの服を着て外に出る

おでんはびちゃびちゃだから、肉まんがいい
肉まんはたよりないから、コロッケがいい

もういちどみたいけれどみられない、わすれてしまったCMの歌を歌いながら自転車を漕ぐ

角の家のおんなのひとがまたたくさん猫をあつめている
猫たちの目は、ひかる。たぶん、それをながめているおんなのひとの目も

すかさずのハグもじゅわじゅわの肉汁もとまらなくなったわらい声も痛かった火の先もゆっくりすぎた雨もおかしな色になっていたお酒も

散らかしたままでいたい

冬の桜並木はみんなそろってうつらうつらしている

（しゃべるのってめんどうだよね）
（たのしいからよけいにね）

雲で星がいつもよりばらばらみたいに見える

ごはん、なにがたべたかったっけなあと思って、もうすこし、自転車を漕いでいく

（加賀田優子）

【編集後記】

なんたる星5周年号でした。丸5年はけっこう相当ですねしかし。5年の間に人は短歌をし、出会い、投げ、失い、綱を引き、タコを引き、ルールを眺め、登場人物を眺めては、矢印を眉間にじわじわ近づけてきた。

今回の誌面企画をメンバーでいろいろ考えてたとき、僕から「なんたる星総まとめ」的な企画を案に出してみたんですがそれほど反応は良くなく、結果やったものが「みんなの今やりたいこと」でした。作文かよ。作文をしました、楽しかった。

けっきょくわれわれが何者で何をしたいのかというのはいまだよくわかりません。われわれ一人ひとりの中にすらそんなにはっきり存在しない可能性もある。そんな風にふわふわ5年ほど短歌とおふざけをやり続けたわれわれですが、今後ものしかりつらかりしつ無理せずやっていこうぜという気持ちだけはどうにもまだまだあるようで、なんたる星は続きます。なにか起きるかもしれないしなにも起きないかもしれないけれど、これからもよろしくお願いします。

なんか代表っぽく書いてしまったけどほくもぜんぜんわかんないよ~~~~~わかんないからね~~~~~うお~~~~~
~~~~~

2019年2月23日 迂回

——今号をなんたる星超編集長・恋をしているに捧げる。柿も捧げる。よろです。

執筆者

はだし（[@hadashinomanmay](#)）

加賀田優子（[@0ccak](#)）

ナイス害（[@NiceGuuuy](#)）

迂回（[@ukaian](#)）

スコラブ（[@scope\\_scape](#)）



なんたる星2月号

発行日：2019年2月25日

編集発行人：迂回

表紙：スコラブ

企画：なんたる星

Twitter：[@nantaruhoshi](#)

なんたる星 5周年企画

ほかにも進行中…

[@nantaruhoshi](https://twitter.com/nantaruhoshi)

のお知らせを待っていてほしい…